学校番号	１００４

令和８年度　（学）国際教養

教科	（学）国際教養	科目	(学)イタリア語文化研究	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

イタリアの言語と文化に触れることで世界観を広げることを目標とします。イタリアについて学ぶことで日本とイタリアの関係や、海外から見た日本というものを考えるきっかけにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
イタリア語の基本的な文法の知識や、簡単な会話の技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
イタリア語を用いて様々な内容を表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的にイタリア人の生活様式、食文化、歴史、美術についての理解を深めるとともに、日本とイタリアとの関わり方を考える態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・イタリア語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるアウトプットやコミュニケーションの場面に応じて、適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う状況や目的に応じて、日常的な話題、時事問題や社会問題について、イタリア語で情報や考えを理解し、また相手に伝える事ができる。	・イタリア語の背景にある文化に対する理解を深め、相手を尊重し、配慮と思いやりを忘れず、自分の発信する情報に責任を持ちながら、主体的・自律的にイタリア語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ntroduczione	発音の基礎知識	a: イタリア語の音声の基本的な特徴を理解している。イタリア語の文法を身につけ、簡単な文章を作成することができる。 b: イタリアの文化や習慣について，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 c: 積極的にイタリア語を使おうとする姿勢を見せると共に、イタリア文化を理解しようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	Lezione 1	男性名詞、女性名詞、冠詞 動詞と代名詞	a: 音読を通じ英語とのつながりを理解している。 b: ローマ帝国の盛衰が現代に与えた影響を説明できる。 c: 積極的にイタリア語を使おうとする姿勢を見せると共に、イタリア文化を理解しようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
2学期	Lezione 2	肯定、否定、疑問文 不規則活用動詞	a: 映画鑑賞を通じて性差による言葉遣いの違いを理解することができる。 b: 地域による文化の違いを説明できる c:日常生活でのイタリア語の例を示すことが可能			
	Lezione 3	前置詞と定冠詞の結合形 動詞 potere, dovere, essere	a: 日常会話の寸劇をこなすことができる。 b: 地域差による方言を考慮して会話、文章化ができる c: イタリアの文化が世界にあたえる影響を説明することができる。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
3学期	Lezione 4・5	非人称の 再帰動詞 補語人称代名詞と関係代名詞	a: 生活を理解し、イタリア語での寸劇台本を作成できる。 b: イタリア語の世界共通語としての部分を説明することができる。 c: イタリア語をラテン系言語の一部として捉え、ラテン系民族の広がりを説明できる。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察

		近過去と半過去				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度